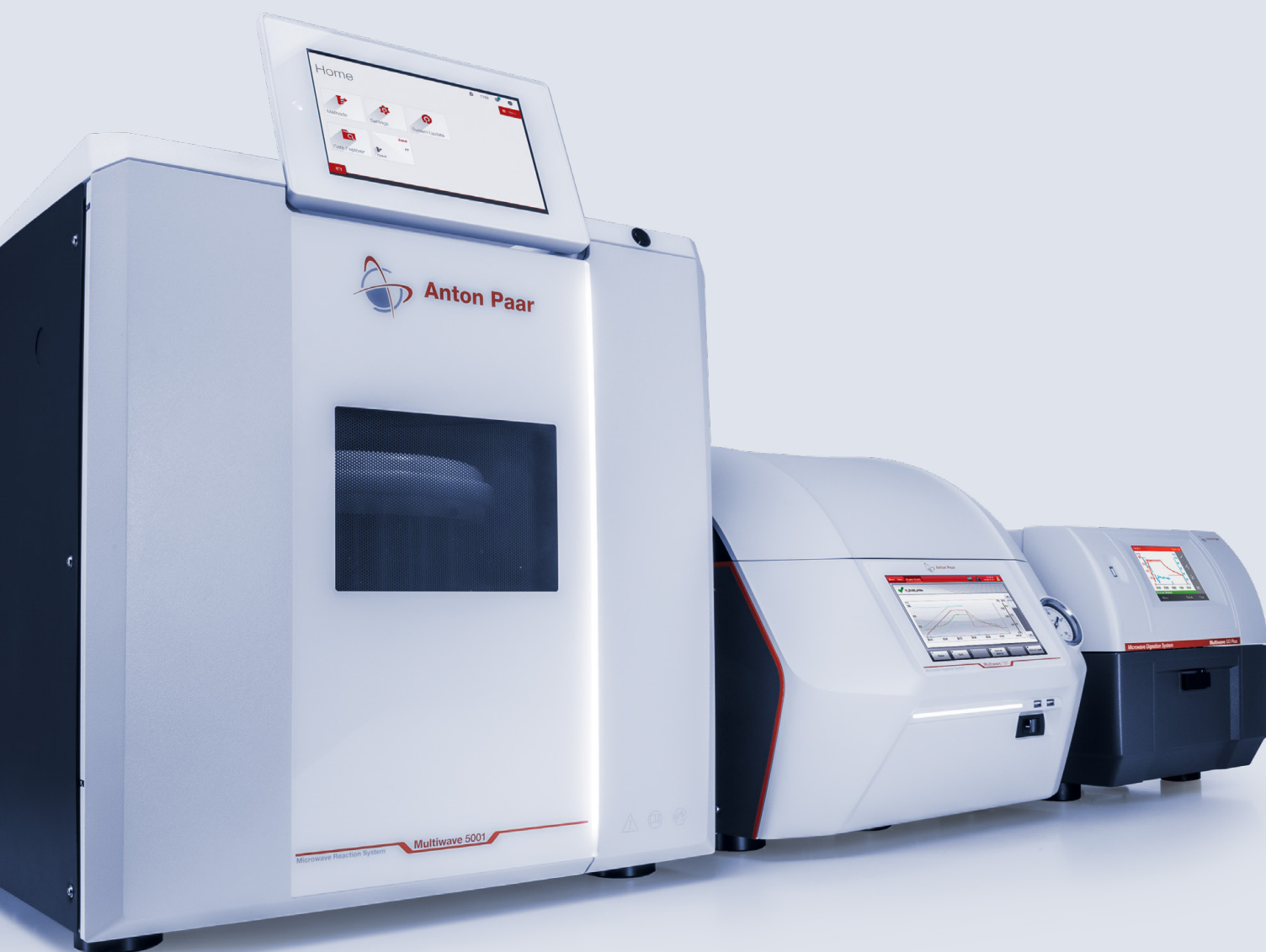


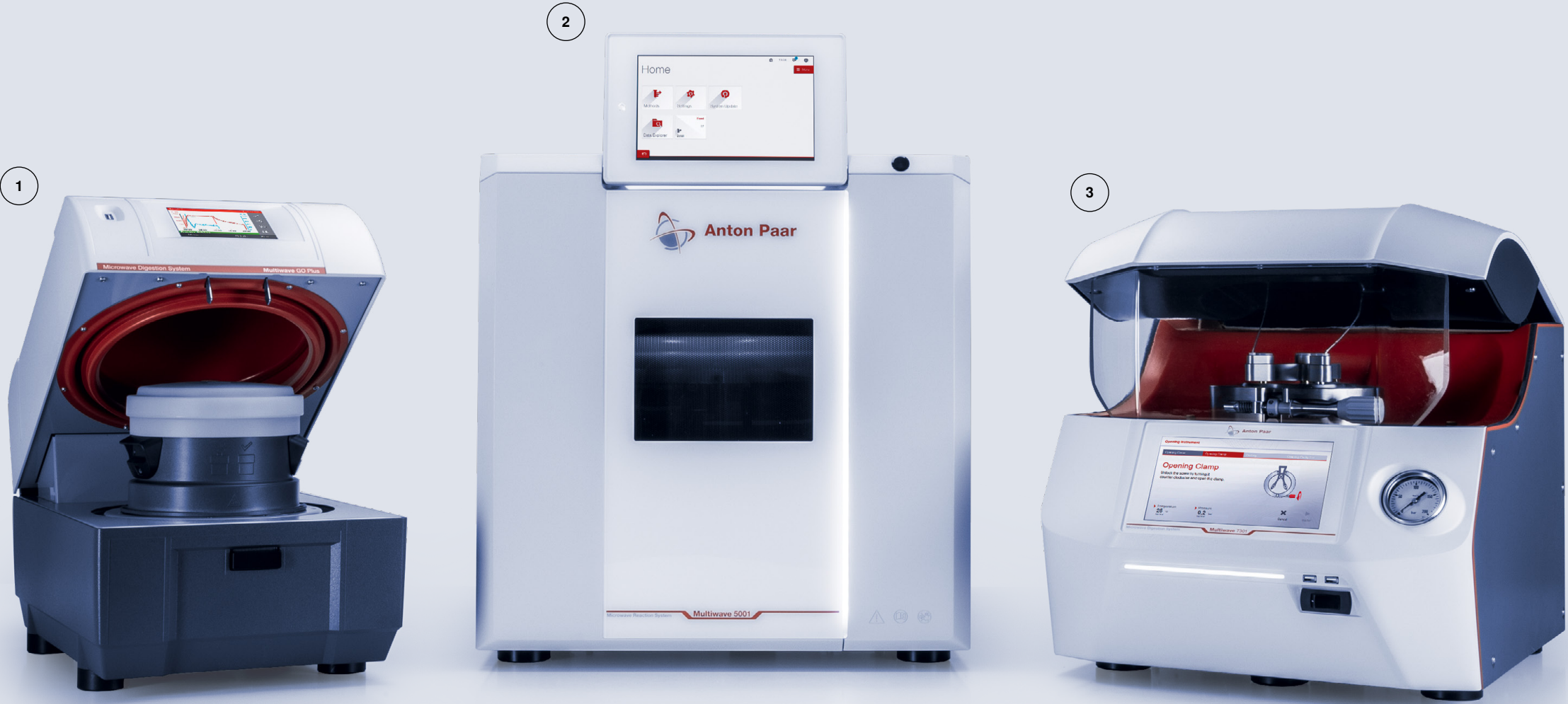
化学者向けソ リューション

サンプル前処理



クラス最高の サンプル前処理

質の高い微量元素分析には、優れたサンプルの前処理が欠かせません。アントンパールのマイクロ波ソリューションは、50年以上にわたるサンプル前処理の経験に基づいています。あらゆるアプリケーションに対応する装置を取り揃えております。



1

Multiwave GO Plus：レディ、ゴー！

Multiwave GO Plusは、世界で最も小さく、最も経済的なマイクロ波分解システムです。モノモードリアクターの高速加熱と、特許取得済み（EP2854478 B）のダイレクトマルチモードチャンバー（DMC）によるマルチモードシステムのような複数サンプルの加熱能力という、2つの技術の長所を兼ね備えています。

メリット

✓

充填数または空のポジション数に応じてマイクロ波出力を自動調整

✓

12ポジションのローターにすべて装填した場合、8分以内にサンプルを冷却（EPAメソッドなど）

✓

わずか3部品で構成される独自の圧力開放容器（SmartVentテクノロジー）

2

Multiwave 3001とMultiwave 5001：1台で無限の可能性

Multiwave 5001は、難易度や量が異なるサンプルの酸分解や酸浸出、蒸発濃縮、マイクロ波誘起酸素燃焼、抽出などのアプリケーション向けに設計された装置です。ローターとアクセサリーの幅広いラインナップにより、お客様のニーズに合わせてシステムを適応させることができます。Multiwave 3001は、ほぼすべてのマイクロ波分解アプリケーションに対応する、多用途で経済的な選択肢です。一方、Multiwave 5001は、アントンパールのラボ作業用ソフトウェア「AP Connect」に統合することができます。また、認証取得済みの安全機能も搭載されています。

メリット

✓

全文検索機能を搭載した、包括的なメソッドライブラリ

✓

カスタマイズ可能な直感的ユーザーインターフェース

✓

独自のハンズフリードア開閉機構

✓

効率的なシステムで生産性を向上

	Multiwave GO Plus	Multiwave 5001 Multiwave 3001	Multiwave 7101/7301/7501
テクノロジー	↓ ダイレクトマルチモードチャンバー（DMC）	↓ マルチモードチャンバー	↓ 加圧分解チャンバー（PDC）
利便性	使いやすくシンプルなユーザーインターフェース	データベースの全文検索機能とソフトウェアガイドを搭載した直感的なユーザーインターフェース	分解工程全体でソフトウェアが手順を指示
処理効率	標準 – 20分以内に12サンプルを処理	ルーチンサンプル（41ポジション）と要求の厳しいサンプル（20ポジション）を最高効率で処理	高 – 一度に最大41サンプルを処理
ポートフォリオ	Rotor 12HVT50（PTFE-TFM）	各種ローター、容器、アクセサリーを選択可能	各種ラック、バイアル、容器を選択可能（使い捨てのガラス製、石英製、PTFE-TFM製）
温度範囲	最大250 °C	最大300 °C	最大300 °C
アプリケーション	酸分解 酸浸出	酸分解 酸浸出 蒸発濃縮* サンプル乾燥* 酸素燃焼* 溶媒抽出* 合成*	酸分解 酸浸出
サンプル	各種ルーチンサンプル – 特に食品や環境物質の前処理に最適	あらゆる種類の有機・無機サンプル（ローターにより異なる）、微量サンプル	あらゆる種類の有機・無機サンプル
* Multiwave 5001			

3

Multiwave 7101、Multiwave 7301、Multiwave 7501：要求の厳しいサンプルも簡単に分解

Multiwave 7101/7301/7501では、同じメソッドを使用して、一度にあらゆる種類のサンプルを完全分解できます。最高温度300 °C、最高圧力199 barの加圧分解チャンバー（PDC）により、サンプル前処理のワークフローが最適化されます。

メリット

✓

お手頃価格のプラグオンキャップ付き圧力密閉バイアル

✓

最大41ポジションの各種容量とラックでサンプルスループットを最大化

✓

冷却システム内蔵のコンパクト設計で冷却時間を最小化

✓

すぐに使えるメソッドとカスタマイズされたアプリケーションサポート

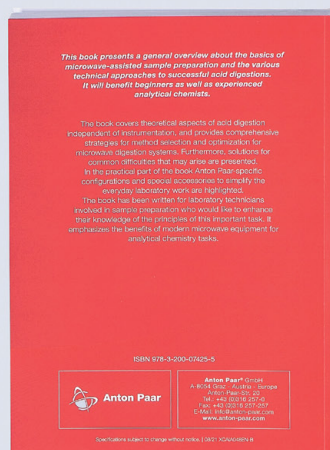
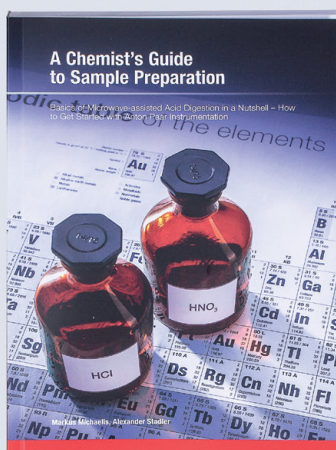
エキスパートアドバイス

詳細はこちら



『化学者のためのサンプル前処理ガイド』は、酸分解を成功させるための基本、メリット、技術的アプローチ、トラブルシューティングのヒントを掲載しています。実用的なセクションでは、ラボのワークフローを合理化するアントンパールのソリューションについて解説しています。

www.anton-paar.com/apb-chemists-guide



信頼性 法令遵守 適格性評価

十分なトレーニングを受けた認定技術者が、お客様の装置を安定稼働させるお手伝いをさせていただきます。





Anton Paar

株式会社アントンパール・ジャパン
〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田1階
Tel: 03-4563-2500 | Fax: 03-6661-8328

〒562-0035 大阪府箕面市船場東3-4-17
箕面千里ビル8階
Tel: 050-4560-2100 | Fax: 03-6661-8328

info.jp@anton-paar.com